

南水研発リカレント教育プログラム

愛媛大学水産人材育成講座

2026 年度受講者募集要項

愛媛大学南予水産研究センター

1. プログラムの目的

愛媛県は、全国第3位の漁業・養殖業産出額を誇る水産県であり、水産業、特に養殖業は南予地域の基幹産業として地域経済に大きく貢献しています。

南予地域の宇和海は、リアス海岸で海が深く、黒潮から派生した「急潮」や豊後水道南部陸棚斜面底層からの「底入り潮」が流入する、特徴的な海域です。急潮により湾内の海水交換が促進され、赤潮の発生を抑制して大規模な魚類養殖を支える環境を提供するとともに、底入り潮により栄養塩が供給され、基礎生産が向上して貝類養殖や天然資源の生産も支えるなど、豊かな生態系や養殖業を支える最適な漁場環境が形成されています。

このため、本地域は研究フィールドとしても非常に魅力的で、大学、高校、公設試、民間で様々なユニークな研究や取り組みが行われています。愛媛大学南予水産研究センター（南水研）は、研究者や学生が地域社会の中に定住して地域課題の解決に取り組む「レジデント型研究教育機関」として愛南町に立地しており、卒業後は地域内で就職する学生も多く、人材育成機関としての役割も果たしています。

しかしながら、近年、我が国では、水産資源・漁獲量の減少、漁業就業者の減少・高齢化、水産物消費の減少と魚離れ、魚価の低迷など、水産業を取り巻く状況は一段と厳しくなっており、本県でもその傾向は同様であり、特に南予地域の経済への影響が懸念されています。一方、海外では水産物の消費が増大し、水産業はこれからの成長産業として注目されるなど、国内とは違った動きが見られています。このような国内外の状況を踏まえると、我が国の水産業をはじめ南予地域の養殖業などにイノベーションを起こせる人材の育成と、それらの人材を通じた地域活性化が求められるところです。

このため、南水研では、レジデント型研究教育機関の強みを活かして、次の点に重点を置いた、新たな水産人材育成講座を開設します。

《コンセプト》

- (1) 世代を超えた水産人材の育成
 - 高大連携による、水産分野へ進学する人材の育成
 - 大学院進学による、水産人材の高度化・確保
 - リカレント教育による、地域に貢献する社会人の水産人材の育成
- (2) レジデント型研究機関としての南水研の存在意義の発揮
 - 南水研の研究成果の普及・社会実装

※ 昨年度までの基礎編と応用編を統合した新たな内容となっています。

2. 募集人数

30名程度

※ 募集人数を大幅に超えて応募があった場合は、抽選によって受講者を決定させていただきます。

3. 受講資格

漁業者、水産業者、漁協等職員、自治体等職員

商工業者、農林業者、農協等職員、金融関係者、高校生、大学生

その他、水産の資源活用、地域振興、産業創出等について学ぶ意欲のある者

※ 水産企業や団体の新入社員等の従業員育成にもご活用ください。

※ 水産業に興味のある高校生の高大接続にもご活用ください。

※ 講義には、愛媛大学社会共創学部の学生が参加することがあります。

4. プログラムの内容

(1) 講座の構成

「愛媛大学水産人材育成講座」は、各月に開催される「座学」と「現地視察」によって構成されています。「座学」は、水産学のほぼ全分野にわたる基礎的内容を中心に講義を行います。「現地視察」は、南水研の施設や養殖現場、魚市場等の視察を予定しています。

また、本講座の終了後、令和9年2月には、南予の高校生や南水研の大学生の研究成果の発表を行う「南予水産・地域研究交流会」を開催することとしております。本交流会は、レジデント型研究教育機関の役割や、研究成果と地域のつながり、地域の活性化などを考える会として実施するもので、本講座の趣旨と合致することから、本講座の受講生も本交流会に参加することができます。

(2) 講座内容とスケジュール（予定）

- ・ 講座は、令和8年6月から11月と令和9年1月の7か月にわたり、各月1回、第3土曜日に開催します。（※1月は大学入学共通テストのため、第4土曜日に開催します。）
- ・ 講座は、原則として1コマ90分（一部は60分）で、1回の講座当たり約2コマ、計7回の講座で15コマを行います。（※大学での2単位に相当します。）
- ・ このうち、「座学」の講義は13コマ、「現地視察」は2コマを予定しております。
- ・ 毎月の講義内容とスケジュールは、別表のとおりです。
- ・ なお、「南予水産・地域研究交流会」の日程等については、講座開始後、改めて受講者に連絡します。

(3) 講座の開催方法

- ・ 「座学」の講義は、愛媛大学南予水産研究センター船越ステーション（愛媛県南宇和郡愛南町船越1289-1）での対面形式と、オンライン会議アプリ「Zoom」を使用する非対面形式とのハイブリッド形式で行います。なお、都合により、講師がオンラインで参加する場合があります。
- ・ リアルタイムでの参加のほか、講義を収録した動画をYouTubeチャンネルにて約1か月間、受講者に限定配信しますので、都合に合わせた受講が可能です。
- ・ また、今回の講座以前に南水研が開催した他の講座の講義についても、受講者に限り、YouTubeチャンネルでアーカイブを視聴することができます。アーカイブについては、講座開始後、改めて受講者に連絡します。

(4) 修了要件と修了証明

- ・ 「座学」の講義の約7割の出席（8コマ以上）と、受講した講義のレポートの提出で修了を認定し、「修了証」を発行します。
- ・ 「現地視察」への出席は、修了要件とはしておりません。
- ・ なお、「座学」の講義の出席確認は、レポートの提出をもって行いますので、講義を受講した場合は必ずレポートを提出してください。

5. 申込手続

講座の受講を希望される方は、下記により申込を行ってください。

(1) 申込期間

2026年4月5日（月）から5月10日（月）まで

(2) 申込書類

「受講申込書」（別紙様式）に記入のうえ、以下のとおり提出してください。

※ 以下のサイトから、受講申込書をダウンロードすることもできます。

URL : <http://ccr.ehime-u.ac.jp/cnf/news/nansuiken-seminar-2026>

(3) 申込方法

- ・ 申込方法は、受講申込書を郵送若しくはメールに添付とし、申込期間内に到着したものを受け付けます。但し、郵送の場合は5月11日（火）以降に配達されたもののうち、5月10日（月）以前の消印があるものも受け付けます。

(4) 提出先

- ≪ 郵送 ≫ 〒798-4292 愛媛県南宇和郡愛南町船越 1289-1
愛媛大学南予水産研究センター 事務室（電話 0895-82-1022）
- ≪ メール ≫ suisanc@stu.ehime-u.ac.jp

(5) 注意事項

- ① 申込書類の記入にあたっては、誤りのないよう正確に記入してください。
- ② 申込後は、申込書類の記載内容の変更は認めません。また、申込書類は返却しません。
- ③ 申込書類に虚偽の記載があった場合は、受講許可後であっても受講の許可を取り消すことがあります。
- ④ 申込後に住所等の変更があった場合は、速やかに愛媛大学南予水産研究センター事務室へ連絡して下さい。

6. 受講手続及び受講料

申込書類受付後、受講の許可を判断し、結果を郵送で通知します。受講を許可する場合は、受講許可の通知と併せて、受講手続の書類及び受講料払込票をお送りしますので、下記のとおり受講手続を行ってください。

(1) 受講手続期間

2026年5月17日(月)から5月28日(金)まで

(2) 受講料

8,000円(高校生及びリピート受講生*は4,000円)

※リピート受講生とは、令和7年度までの水産人材育成講座を受講された方(修了の有無は問いません)をいいます。

7. 個人情報の取り扱いについて

本センターでは、提出された申込書類に記載された氏名、住所等の個人情報は、本センターにおける申込みの事務処理に不備等があった場合の連絡、及び受講手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、申込書の不備等があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくため、申込みされること及び提出した申込書に不備があることを、申込者の自宅に連絡する場合があります。

また、同個人情報は、申込者の受講後に関する業務及び調査・研究(申込み動向の調査・分析等)を行う目的をもって本センターが管理します。

他の目的での利用及び本センターの関係教職員以外への提出は行いません。

◇ 本講座に関するお問い合わせ

愛媛大学南予水産研究センター 事務室

〒798-4292 愛媛県南宇和郡愛南町船越 1289-1

[電話] 0895-82-1022

[FAX] 0895-82-1026

[Email] suisanc@stu.ehime-u.ac.jp

※お問い合わせの際は、なるべくメールでお願いします。

《別表》

毎月の講座内容とスケジュール（予定）

《 令和8年度 愛媛大学水産人材育成講座 》	
<p>6月20日(土)</p> <p>13:00～13:05</p> <p>13:05～13:30</p> <p>13:30～14:30</p> <p>14:50～16:20</p>	<p>【Ⅰ. ガイダンス・南水研紹介】</p> <p>○ 開講挨拶 愛媛大学南予水産研究センター センター長 後藤理恵</p> <p>○ ガイダンス： 講座の概要説明、愛媛の水産業 愛媛大学南予水産研究センター 顧問・客員教授 金尾聡志</p> <p>① 南水研紹介： レジデント型教育研究機関の役割と可能性 愛媛大学南予水産研究センター 教授・センター長 後藤理恵</p> <p>② 施設見学： 船越ステーション、西浦ステーション 愛媛大学南予水産研究センター 関係者</p>
<p>7月18日(土)</p> <p>13:00～14:30</p> <p>14:50～16:20</p>	<p>【Ⅱ. 海洋環境】</p> <p>③ 生物生産環境： 海の流れと基礎生産、食物連鎖、基礎生産のメカニズム 愛媛大学南予水産研究センター 顧問・客員教授 武岡英隆</p> <p>④ 水域環境保全： 富栄養化、水域汚染、赤潮 愛媛大学南予水産研究センター 准教授 清水園子</p>
<p>8月22日(土)</p> <p>13:00～14:30</p> <p>14:50～16:20</p>	<p>【Ⅲ. 水産生物・資源】</p> <p>⑤ 水産生物： 水産魚介類の分類、生理・生態、遺伝・育種 愛媛大学南予水産研究センター 教授 高木基裕</p> <p>⑥ 水産資源・増殖： 漁船漁業と資源管理、栽培漁業 愛媛大学南予水産研究センター 教授 松原孝博</p>
<p>9月19日(土)</p> <p>13:00～14:30</p> <p>14:50～16:20</p>	<p>【Ⅳ. 水産養殖・魚病】</p> <p>⑦ 水産養殖： 養殖方法・主要魚種、養殖生産技術、次世代育種システム 愛媛大学南予水産研究センター 教授・センター長 後藤理恵</p> <p>⑧ 魚病： 魚病学の基礎 愛媛大学南予水産研究センター 助教 竹内久登</p>
<p>10月17日(土)</p> <p>13:00～14:00</p> <p>14:10～15:10</p> <p>15:20～16:20</p>	<p>【Ⅴ. 現場の取組】</p> <p>⑨ 愛南町の取組： 海の恵みを活かす地域発展戦略 愛南町海業振興課 課長 藤田有紀</p> <p>⑩ 地域活性化：「ぎょしょく教育」をもとにした地域協働の可能性 ーシビックプライドの醸成と地域活性化ー 愛媛大学南予水産研究センター 顧問・客員教授 若林良和</p> <p>⑪ 現地視察： 魚市場（愛南漁協） スマ飼育生簀の視察（南水研）などを予定</p>
<p>11月21日(土)</p> <p>13:00～14:30</p> <p>14:50～16:20</p>	<p>【Ⅵ. 水産化学・利用加工】</p> <p>⑫ 水産化学・生化学： 養殖魚の栄養と飼料、魚介類の生体成分、味 愛媛大学南予水産研究センター 准教授 斎藤大樹</p> <p>⑬ 水産物の利用・加工： 水産加工、冷凍・冷蔵、水産食品衛生 元愛媛県産業技術研究所 所長 平岡芳信</p>
<p>1月23日(土)</p> <p>13:00～14:30</p> <p>14:50～16:20</p>	<p>【Ⅶ. 流通販売・ビジネス】</p> <p>⑭ ビジネス： 宇和島プロジェクトの挑戦 株式会社宇和島プロジェクト 代表取締役 木和田権一</p> <p>⑮ 水産物の流通販売、経済・経営： 政策、水産経済、水産経営 愛媛大学南予水産研究センター 教授 竹ノ内徳人</p>

※ 都合により、講義の順番が変更される場合があります。